

# 「伝え合う力」を高める授業の実践

【幸手市教育委員会】

1 小学校、全学年、国語

2 ねらい 国語科において「読む力」「書く力」をつけ、様々な学習形態で交流させることをとおして、児童の伝え合う力を高める。

3 取組内容

## ＜「読む力」を高める取り組み＞

### ○一人一人が読み取り、考え、読みを深める学習過程「ひとり読み」・「なかま読み」

子どもたちの読む力を高めるためには、まずは叙述から着目すべき言葉を見つけ、自分の考えを持たなくてはならない。その、個人の読み取りの時間を「ひとり読み」とした。読み取りができるようにするためには、語彙を増やし、語感を養わなければならない。そのために、国語辞典の調べた言葉に付箋を貼る活動を継続していった。また、教師が着目すべき言葉を助言し、読み取りを行わせた。

そして、読み取ったことを交流させることで多様な考えに触れ、読みが深まる。その、読みの交流の時間を「なかま読み」とし、充分に話し合わせ、本時のまとめへとつなげていった。

幸手市立南日向小学校

国語科学習における 目的意識をもち読み進めていく単元計画

つかひ (第1次)	むかう (第2次)	あらわす (第3次)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材文との出会い</li> <li>・教材の背景つかみ</li> <li>・第3次の表現活動のとらえ</li> <li>・課題の生みだし</li> </ul> <p>(関連図書の紹介)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひとり読み」で個々に読みを進める。(自己課題追求)</li> <li>○「なかま読み」で交流をし、読みを広げる。(伝え合う力を育てる)</li> <li>○「課題の焦点化」で読みを深める。(参考図書の利用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現活動</li> <li>○読書活動</li> </ul> <p>(読書の推進)</p>



付箋 辞典



「ひとり読み」

国語科学習における 叙述に即して読み深める学習過程モデル

学習場面と課題の種	気づく	味わう
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習場面と課題の確認</li> <li>・課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習課題をつかんだか。</li> <li>・前時までの学習を想起させる。</li> </ul>	
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひとり読み」(自己の課題追求)</li> <li>知識・技能を使い、思考力・判断力を働かせ「既習内容」とかわらせて、追求を深める。</li> <li>○「なかま読み」(学び合う課題追求)</li> <li>自分の考えをもとに、「ひと」とかかわりながら、自分の考えをより深める。=伝え合う力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇どの言葉に着目し、どのように内容をとらえたか。</li> <li>・言葉に着目し、読み進めるための指導・援助</li> <li>・言葉への着目の仕方について助言</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○焦点化された課題の追求</li> <li>・要旨をとらえる。</li> <li>・心情や情景など優れた叙述を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇仲間と共に言葉に着目し、ひとりよりの読みを広げていくための指導・援助</li> <li>・言葉に着目するための問いかけ</li> <li>・叙述に即して理解するための問いかけ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇課題を焦点化していくための指導・援助</li> <li>・読みのすれに気付かせるための問いかけ</li> <li>◇読みを深めるための指導・援助</li> <li>・仲間との考えと比べたり関連させたりして考えるための問いかけ (伝え合う力)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本時の学習をどのように振り返ったか。</li> <li>・音読や朗読の仕方と読み取った内容の評価</li> </ul>	



「なかま読み」

## ＜「書く力」を高める取り組み＞

### ① 思ったこと、考えたことは必ず書く

考えたこと、話したことは一時的なものであり、形に残らないため、自分の考えの過程を知るため、また説明をしやすくするため、必ず書かせるという学習活動を展開した。



### ② メモのとり方を定着させる

児童に、「メモをとりながら聞きなさい」と指示をすると、全文を書き取ろうとしたり、内容の中心が分からなくなったりしてしまふ。そこで「メモのとり方」という掲示物を作成し、聞き取りの要点を指導し、メモをとる活動を継続していった。

### メモのとり方

○キーワードを、すばやく書き取ろう。

①もの名前、数  
②意見  
③理由

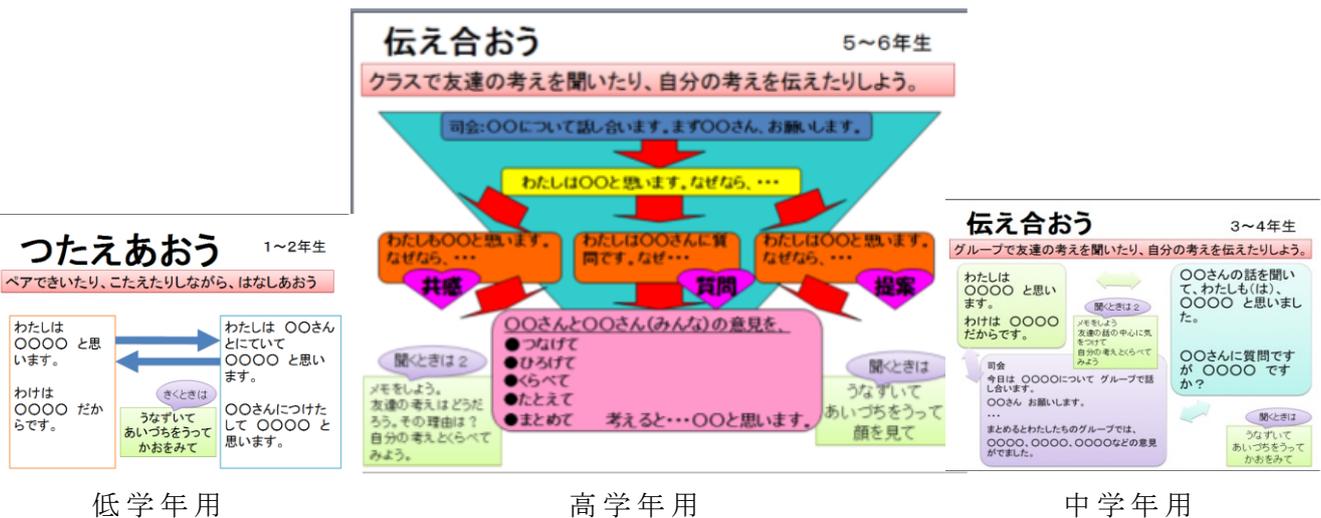
○メモを整理しよう。

◎…同じ・似ている考え  
○…なるほど、納得  
△…自分とちがう  
☆…初めて知った、おどろき  
友達と同じ考えを線で結ぼう。

## ＜意見交流を充実させるための取り組み＞

### ○話し合いのしかたを定着させる

「自分の考えを順に発表する」という一方的なものは話し合いにならない。そのようにならないようにするために、発達段階を踏まえた話し合いのしかたの掲示物を作成し、指導に生かした。



低学年用

高学年用

中学年用

## 4 成果と課題

- 自分なりの読みの力が高まり、進んで読書に取り組む児童が増えてきた。
- 書く活動によって思考を整理することができ、自信を持って自分の考えを発表する児童が増えてきた。
- 話し合いの場面を意図的に設定したことで、話し合いのしかたが身につく、他の教科や領域においても、話し合いが深まるようになってきた。
- ▲メモのとり方がなかなか定着しない児童がいるので、今後の取り組み方を検討していきたい。

